

A 会場（2F 多目的ホール）

9:30～11:00 irAE ワークショップ【irAE 症例報告のセッション】 抄録 P. 103

座長：吉野 公二（がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科）

竹之内辰也（新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科）

コメンテーター：吉川 周佐（静岡県立静岡がんセンター 皮膚科）

並川健二郎（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）

WS1 Infliximab 投与後 Tacrolimus 内服を要した難治性免疫関連有害事象（irAE）腸炎の1例

丸山彩乃¹（まるやま あやの）、大堀侑紀¹、澤 杏樹¹、大西友里¹、中江 真¹、小森敏史¹、浅井 純¹、加藤則人¹、窪田真理子²、高木智久²

¹京都府立医科大学 皮膚科、²京都府立医科大学 消化器内科

WS2 ICI 投与中止後に生じた irAE の3例

山川浩平（やまかわ こうへい）、緒方 大、日置紘二郎、陣内駿一、並川健二郎、高橋 聡、山崎直也

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

WS3* ニボルマブ・イピリムマブ併用治療後に嚥下障害をきたした食道悪性黒色腫の1例

上原治朗¹（うえはら じろう）、日浦 梓¹、北野滋久²、吉野公二¹

¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 先端医療開発センター

WS4* ニボルマブ投与後に生じた胃炎に対しインフリキシマブ投与が奏効した1例
五影志津¹（いつかげ しづ）、久米典子¹、小林里佳¹、矢村明久¹、山崎文和¹、岡崎 敬²、谷崎英昭¹

¹関西医科大学 皮膚科、²関西医科大学 消化器肝臓内科

総合レクチャー 免疫関連有害事象（irAE）の作用機序とマネージメントについて

北野滋久（きたの しげひさ）

がん研究会有明病院 先端医療開発科

11:10～12:10 特別講演 2 抄録 P. 58

座長：花田 勝美（弘前大学 名誉教授）

SL2 「はやぶさ」、「はやぶさ 2」が語る、時代をひらく新技術の立ち上げ方

川口淳一郎^{1,2}（かわぐち じゅんいちろう）

¹東北大学大学院工学研究科機械系航空宇宙工学、

²宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系 名誉教授

12:20~13:20 ランチョンセミナー 5

【進行期メラノーマにおける複合免疫療法の価値とは～基礎と臨床からのアプローチ～】

抄録 P. 90

座長：宇原 久（札幌医科大学 皮膚科）

吉野 公二（がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科）

LS5-1 基礎研究から理解する複合免疫療法の意義～長期生存を目指して～

北野滋久（きたの しげひさ）

がん研究会有明病院 先端医療開発科/がん免疫治療開発部

LS5-2 実臨床に活かす複合免疫療法のエビデンス

～進行期メラノーマ治療のゴール～

並川健二郎（なみかわ けんじろう）

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

共催：小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

13:30~15:00 CPC：リンフォーマ

抄録 P. 99

オーガナイザー：菅谷 誠（国際医療福祉大学 皮膚科）

吉野 正（岡山大学 病理学）

コメンテーター：一迫 玲（東北大学 造血器病理学）

濱田 利久（国際医療福祉大学成田病院 皮膚科）

大塚 幹夫（福島県立医科大学 皮膚科）

清原 英司（大阪大学 皮膚科）

CPC-1 モガムリズマブでコントロールしている、著明な好酸球浸潤を伴う菌状息肉症の 1 例

田中 了¹（たなか りょう）、中塚万莉¹、山根万里子¹、西村広健²、藤原英世²、
河田裕二郎³、神谷伸彦³、吉野 正⁴、濱田利久⁵、青山裕美¹

¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 病理学、³川崎医科大学 放射線腫瘍学、

⁴岡山大学 病理学、⁵国際医療福祉大学成田病院 皮膚科

CPC-2 巨大な環状紅斑を呈し筋間に沿って浸潤した菌状息肉症

六戸大樹¹（ろくのへ だいき）、中野 創¹、竹本啓伸²、金子高英³、澤村大輔¹

¹弘前大学 皮膚科、²つがる総合病院 皮膚科、³順天堂大学浦安病院 皮膚科

CPC-3 皮膚原発未分化大細胞型リンパ腫の病型を呈したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患

増田百合香¹（ますだ ゆりか）、伊村紀慧¹、佐野悠子¹、村松 彩²、谷岡書彦³、八木宏明¹

¹静岡県立総合病院 皮膚科、²静岡県立総合病院 病理診断科、³磐田市立総合病院 病理診断科

CPC-4 頭蓋内病変を伴った Rosai-Dorfman 病の一例

笹岡佑輔（ささおか ゆうすけ）、清原英司、藤本 学

大阪大学 皮膚科

15:00~15:10 閉会式

9:30~10:30 教育講演 4 【ダーモスコピー診断ドリル】

抄録 P. 66

座長：田中 勝 (東京女子医科大学足立医療センター 皮膚科)
古賀 弘志 (信州大学 皮膚科)

EL4-1 メラノサイト系腫瘍

皆川 茜 (みながわ あかね)
信州大学 皮膚科

EL4-2 非メラノサイト系腫瘍

外川八英 (とがわ やえい)
千葉大学 皮膚科

12:20~13:20 ランチョンセミナー 6【メラノーマ治療における Asian Collaboration の課題と取り組み】

抄録 P. 92

座長：門野 岳史 (聖マリアンナ医科大学 皮膚科)

LS6-1 メラノーマの薬物療法 —世界の update data とアジア系人種への適用と取り組み

中村泰大 (なかむら やすひろ)
埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

LS6-2 メラノーマ診療のアジアコラボレーション —これまでとこれから

松下茂人 (まつした しげと)
鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

13:30~14:40 一般演題 23 【手術】

抄録 P. 151

座長：元村 尚嗣 (大阪公立大学 形成外科)
黒川 正人 (熊本大学赤十字病院 形成外科)

B-4-1 左大腿部異型脂肪腫様腫瘍の 1 例

宮崎 駿 (みやざき しゅん)、帆足俊彦、魚住知美、吉田 舞、古谷野理恵、
米山健一、徳永美月、佐伯秀久
日本医科大学 皮膚科

B-4-2* 前額部隆起性皮膚線維肉腫の治療経験

西尾卓哉^{1,2} (にしお たくや)、林 利彦¹、山尾 健^{1,2}、市原寛大¹、宮田明久生¹、
湯澤明夏³
¹旭川医科大学 形成外科、²北海道大学 形成外科、³旭川医科大学 病理部

B-4-3 鼠径/骨盤内郭清を要する皮膚悪性腫瘍におけるリガシユアの有用性の検討
梅田善康 (うめだ よしやす)、寺本由紀子、石月翔一郎、齋藤晋太郎、浅見友梨、
佐々木克仁、馬場夏希、中村泰大
埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

B-4-4* 内視鏡的粘膜下層剥離術を併用して切除した直腸肛門部悪性黒色腫の1例
日置紘二郎¹ (ひき こうじろう)、緒方 大¹、久田 泉²、坂本 琢²、高丸博之²、
並川健二郎¹、高橋 聡¹、斎藤 豊²、山崎直也¹
¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、
²国立がん研究センター中央病院 消化管内視鏡科

B-4-5 下肢原発皮膚悪性腫瘍のリンパ節転移に対する郭清術後のリンパ浮腫の重症
度評価
前田 拓¹ (まえだ たく)、林 利彦²、村尾尚規³、石川耕資¹、舟山恵美¹、三浦隆洋¹、
山本有平¹
¹北海道大学 形成外科、²旭川医科大学 形成外科、³斗南病院 形成外科

B-4-6 80歳女性、耳垂部メルケル細胞癌の治療経験
蔡 顯真¹ (さい けんしん)、野村麻衣²、元村尚嗣²
¹南大阪病院 形成外科、²大阪公立大学 形成外科

B-4-7* ワイヤーフレーム固定した真皮下血管網付き植皮で再建した左眼窩内側部メ
ルケル細胞癌の1例
日原正勝 (ひはら まさかつ)、引網梨奈、光井俊人、覚道奈津子
関西医科大学 形成外科

B-4-8 両側島状鼻唇溝皮弁にて再建した広範囲鼻尖部基底細胞癌の1例
鈴木健司¹ (すずき けんじ)、清原隆宏²
¹関西医科大学総合医療センター 形成外科、²関西医科大学総合医療センター 皮膚科

B-4-9 Cross lip flap で再建した再発性口唇基底細胞癌の一例
安井由希子 (やすい ゆきこ)、加藤裕史、中村元樹、加納慎二、森田明理
名古屋市立大学

座長：八田 尚人 (富山県立中央病院 皮膚科)
船越 建 (慶應義塾大学 皮膚科)

C-6-1 傍大動脈リンパ節領域まで含めた骨盤内リンパ節郭清により長期生存している乳房外 Paget 病の 1 例

橋本圭佑 (はしもと けいすけ)、在田貴裕、小森敏史、浅井 純、加藤則人
京都府立医科大学 皮膚科

C-6-2* 両腋窩、臍部、陰部の 4 か所に生じた乳房外パジェット病の 1 例

石黒暁寛 (いしくろ あきひろ)、岩下宣彦、柳下武士、竹尾友宏、大嶋雄一郎、
渡辺大輔
愛知医科大学

C-6-3 遠隔転移を来した乳房外パジェット病に対してドセタキセル療法を選択した 3 症例

石川一志 (いしかわ かずし)、高木杏子、角沖史野、西依 諒、内村公美、多田瑞穂、
齋藤華奈実、梅木真由子、生野知子、波多野豊
大分大学 皮膚科

C-6-4 センチネルリンパ節生検は乳房外 Paget 病の予後を予測する

前田拓哉¹ (まえだ たくや)、上原治朗¹、北野滋久²、吉野公二¹
¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 先端医療開発センター

C-6-5 乳房外パジェット病多発リンパ節転移例に対する術後放射線療法の効果に関する検討

奥村真央¹ (おくむら まお)、緒方 大¹、並川健二郎¹、高橋 聡¹、大熊加恵²、
柏原大朗²、井垣 浩²、山崎直也¹
¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²国立がん研究センター中央病院 放射線治療科

C-6-6 遠隔転移を生じた乳房外 Paget 病の治療選択について

日浦 梓¹ (ひうら あずさ)、上原治朗¹、北野滋久²、吉野公二¹
¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 先端医療開発センター

座長：須山 孝雪 (獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科)
浅井 純 (京都府立医科大学 皮膚科)

C-7-1 乳頭に腫瘤状病変を呈した乳房 paget 病の 1 例

入江絹子¹ (いりえ きぬこ)、石崎莉子¹、佐藤真由¹、松村奈津子¹、森 龍彦¹、
花見由華¹、山本俊幸¹、星 信大²、喜古雄一郎³
¹福島県立医科大学 皮膚科、²福島県立医科大学 乳腺外科、
³福島県立医科大学 病理病態診断学講座

C-7-2 進行期外陰部乳房外 Paget 病 (EMPD) に大腸癌を合併し双方から肝転移を生じた 1 例

芦田日美野¹ (あした ひみの)、眞部恵子^{1,2}、若槻俊之³、永喜多敬奈⁴、神農陽子⁴、
浅越健治¹
¹岡山医療センター 皮膚科、²高松赤十字病院 皮膚科、³岡山医療センター 消化器内科、
⁴岡山医療センター 病理診断科

C-7-3* ボーエン病様の組織所見を伴った外陰部乳房外パジェット病

山下あや¹ (やました あや)、六戸大樹¹、吉川未雪¹、高橋実か¹、松井彰伸¹、
赤坂英二郎¹、中島康爾¹、中野 創¹、澤村大輔¹、会津隆幸²
¹弘前大学 皮膚科、²あいつ皮ふ科クリニック

C-7-4 乳房外 Paget 病の骨転移に対し放射線治療とドセタキセルを同時併用した 1 例

上野美咲¹ (うえの みさき)、帆足俊彦¹、新井悠江¹、安念節晃¹、宮崎 駿¹、杉本 徹¹、
北川泰之²、佐藤吉隆³、前林勝也³、佐伯秀久¹
¹日本医科大学 皮膚科、²日本医科大学多摩永山病院 整形外科、
³日本医科大学 放射線治療科

C-7-5* 局所破壊性に増殖した陰茎部乳房外 Paget 病に対して S-1/DOC 併用療法が奏効した 1 例

日高太陽 (ひたか たいよう)、青木恵美、山村健太郎、坂本翔一、平野 唯、
西原克彦、松下茂人
鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

C-7-6 当院における肛門管癌続発性 Paget 病の検討

上田沙紀 (うえだ さき)、佐藤あゆみ、中内恵美、西岡美南、山本哲久、熊野公子
宝塚市立病院 皮膚科

座長：清原 祥夫（静岡県立静岡がんセンター 皮膚科）
為政 大幾（大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科）

LS7-1 メルケル細胞癌における腫瘍微小環境について

中村元樹（なかむら もとき）
名古屋市立大学 皮膚科

LS7-2 メルケル細胞癌診療の実際

永瀬浩太郎（ながせ こうたろう）
佐賀大学 皮膚科

共催：メルクバイオファーマ株式会社 / ファイザー株式会社

座長：藤本 学（大阪大学 皮膚科）
岩田 洋平（藤田医科大学 皮膚科）

C-8-1 CDK4/6 阻害剤は乳房外 Paget 病の腫瘍増殖を抑制する

北村真也（きたむら しんや）、前田拓哉、柳 輝希、氏家英之
北海道大学 皮膚科

C-8-2 当院の皮膚悪性腫瘍の緊急入院について

陣内駿一（じんない しゅんいち）、緒方 大、並川健二郎、高橋 聡、山崎直也
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

C-8-3 国立がん研究センターにおける皮膚悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法

井垣 浩¹（いがき ひろし）、緒方 大²、高橋 聡²、並川健二郎²、中村哲志³、
柏原大朗¹、中村 勝⁴、岩崎誠規⁵、山崎直也²、伊丹 純^{1,6}

¹国立がん研究センター中央病院 放射線治療科、

²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、

³国立がん研究センター中央病院 放射線品質管理室、⁴株式会社CICS、

⁵ステラファーマ株式会社、⁶新松戸中央総合病院 高精度低侵襲治療センター

C-8-4 抗 TIF1 γ 抗体陽性皮膚筋炎患者に合併した内臓悪性腫瘍に関する臨床的検討

寺尾 茜（てらお あかね）、田口良吉、人見勝博、寺木祐一、福田知雄
埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科

C-8-5 当科におけるがん遺伝子パネル検査結果と治療状況

森章一郎^{1,2}（もり しょういちろう）、茜部穂波²、村上佳恵²、横田憲二²、秋山真志²

¹豊橋市民病院 皮膚科、²名古屋大学 皮膚科

C-8-6

進行期皮膚悪性腫瘍におけるがん遺伝子パネル検査の有用性

松井馨之¹ (まつい よしゆき)、緒方 大¹、鶴田成二¹、奥村真央¹、日置紘二郎¹、
並川健二郎¹、高橋 聡¹、小山隆文²、角南久仁子³、山崎直也¹

¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²国立がん研究センター中央病院 先端医療科、

³国立がん研究センター中央病院 臨床検査科

C-8-7

皮膚腫瘍における初診患者の特徴と受診に至る経緯、早期受診に影響を与える因子の検討

今井聡子 (いまい さとこ)、緒方 大、並川健二郎、高橋 聡、山崎直也

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

C-8-8

全国がん登録情報を基にした皮膚がんの疫学調査

緒方 大¹ (おがた だい)、並川健二郎¹、高橋 聡¹、藤森麻衣子²、内富庸介²、
山崎直也¹

¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、

²国立がん研究センター中央病院 がん対策研究所

9:30~10:15 一般演題 20 【間葉系・組織球系腫瘍 (1)】

抄録 P. 145

座長：林 礼人 (順天堂大学浦安病院 形成外科・再建外科)
福本 隆也 (福本皮フ病理診断科)**D-6-1** 前腕～手背に多発した類上皮肉腫の 1 例西原克彦¹ (にしはら かつひこ)、八束和樹¹、土居千晃¹、戸澤麻美²、武藤 潤¹、
佐山浩二¹¹愛媛大学 皮膚科、²愛媛大学 形成外科**D-6-2*** 皮膚浸潤を認める平滑筋肉腫に対して術前 TAE が有用であった 1 例外菌 優¹ (ほかぞの ゆう)、赤石諭史¹、小川 令²、桑原大彰¹¹日本医科大学武蔵小杉病院 形成外科、²日本医科大学 形成外科・再建外科・美容外科**D-6-3** 東北大学皮膚科で根治切除をした隆起性皮膚線維肉腫 44 例の後方視的解析武藤雄介 (むとう ゆうすけ)、神林由美、古舘禎騎、大内謙太郎、天貝 諒、
千葉広夢、橋本 彰、藤村 卓

東北大学 皮膚科

D-6-4 足底皮膚に生じた明細胞肉腫の 1 例望月亮佐 (もちづき りょうすけ)、中谷祥子、田中菜々子、八尋知里、後藤啓介、
高井利浩

兵庫県立がんセンター 皮膚科

D-6-5 Atypical fibroxanthoma (AFX) との鑑別に苦慮した Pleomorphic dermal sarcoma (PDS) の 1 例藤田 壮 (ふじた そう)、浦上揚介、中原由紀子、河田裕二郎、福田裕次郎、
西村広健、岡 大五、山本剛伸、田中 了、青山裕美

川崎医科大学 皮膚科

10:20~11:10 一般演題 21 【間葉系・組織球系腫瘍 (2)】

抄録 P. 147

座長：門野 岳史 (聖マリアンナ医科大学 皮膚科)
清原 隆宏 (関西医科大学総合医療センター 皮膚科)**D-7-1** 痒疹の治療中に難治性下腿潰瘍として生じた類上皮肉腫の 1 例山根沙紀¹ (やまね さき)、山下千佳紗¹、外村香子¹、種村 篤¹、藤本 学¹、
伊村慶紀²、王谷英達²、野島 聡³、森井英一³、中嶋安彬⁴¹大阪大学 皮膚科、²大阪大学 整形外科、³大阪大学 病態病理学、⁴三菱京都病院 病理診断科

D-7-2 若年者に生じた隆起性皮膚線維肉腫の1例

中條聡美¹ (ちゅうじょう さとみ)、脇 裕磨¹、鈴木彩子¹、延山嘉真¹、赤股 要²、朝比奈昭彦¹

¹東京慈恵会医科大学 皮膚科、²五反田駅前ひふ科

D-7-3* 腰部に巨大血腫を形成し Chronic expanding hematoma と誤診した Myxoinflammatory fibroblastic sarcoma の1例

川野正人¹ (かわの まさと)、黒木脩矢¹、檜原 亮¹、西川陽太郎¹、江藤博文¹、持田耕介¹、山本晃士²、天野正宏¹

¹宮崎大学 皮膚科、²宮崎大学 腫瘍・再生病態学

D-7-4 切除範囲の設定に苦慮した前額部隆起性皮膚線維肉腫の1例

眞部恵子¹ (まなべ けいこ)、砂川 澁¹、蓮井謙一¹、神野泰輔¹、濱田利久¹、三柳友樹²

¹高松赤十字病院 皮膚科、²高松赤十字病院 形成外科

D-7-5 Atypical fibroxanthoma の1例

中尾恵美¹ (なかお えみ)、齋藤里穂¹、茂木いづみ¹、高橋沙紀¹、大谷方子²、安齋眞一³、池田信昭¹

¹横浜市立大学市民総合医療センター 皮膚科、

²横浜市立大学市民総合医療センター 病理診断科、³PCL Japan 飯田橋 病理・細胞診センター

D-7-6* 集学的治療が奏功した小児横紋筋肉腫の1例

漣 紗織¹ (さざなみ さおり)、在田貴裕¹、小森敏史¹、浅井 純¹、加藤則人¹、岩田成弘²、宮地 充²、土屋邦彦²、家原知子²

¹京都府立医科大学 皮膚科、²京都府立医科大学 小児科

12:20~13:20 ランチョンセミナー 8

抄録 P. 96

座長：藤澤 康弘 (愛媛大学 皮膚科)

LS8 メラノーマ薬物治療における Up to Date と治療戦略

吉川周佐 (よしかわ しゅうすけ)

静岡県立静岡がんセンター 皮膚科

共催：MSD 株式会社

13:30~14:30 一般演題 25 【メラノーマ (8)】

抄録 P. 156

座長：阿部理一郎 (新潟大学 皮膚科)

猪爪 隆史 (千葉大学 皮膚科)

D-8-1 掌蹠の早期メラノーマの診断の補助に FISH 法は有用である

高井彩也華^{1,2,3} (たかい さやか)、新井栄一²、小路口奈帆子²、中村泰大³、百瀬修二⁴、福田知雄⁵、石澤圭介⁶、常深祐一郎¹、土田哲也¹、中村晃一郎¹

¹埼玉医科大学、²埼玉医科大学国際医療センター 病理診断科、

³埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科、⁴埼玉医科大学総合医療センター 病理部、

⁵埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科、⁶埼玉医科大学 病理診断科

D-8-2 Circulating tumor DNA のモニタリングが画像評価より早期に腫瘍量の変化をとらえた *BRAF* 変異悪性黒色腫の2例

御子柴飛鳥 (みこしば あすか)、勝家志歩、佐野 佑、芦田敦子、奥山隆平
信州大学

D-8-3 病期 II、III 期の悪性黒色腫の原発巣の免疫状態と予後のまとめ

中村謙太 (なかむら けんた)、芦田敦子、木庭幸子、奥山隆平
信州大学 皮膚科

D-8-4 当科における進行期ぶどう膜悪性黒色腫の経験—ニボルマブ・イピリムマブ併用療法の効果に対する検討—

大江秀一 (おおえ しゅういち)、花岡佑真、立花宏太、益田知可子、田中麻理、
荒金布真、爲政大幾
大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科

D-8-5 悪性黒色腫センチネルリンパ節生検陽性症例の臨床転帰に関する検討

上原治朗¹ (うえはら じろう)、日浦 梓¹、北野滋久²、吉野公二¹
¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 先端医療開発センター

D-8-6 悪性黒色腫患者における全身 MRI (Whole-body MRI) の有用性に関する検討

爲政大幾¹ (いせい たいき)、大江秀一¹、花岡佑真¹、立花宏太^{1,2}、益田知可子¹、
荒金布真¹、中西克之³
¹大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、²岡山大学 皮膚科、
³大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR科

座長：久保 宜明 (徳島大学病院 皮膚科)
須賀 康 (順天堂大学浦安病院 皮膚科)

E-5-1 多発頸部リンパ節転移を来した原発不明癌の 1 例

米山健一¹ (よねやま けんいち)、帆足俊彦¹、宮崎 駿¹、山田麻以¹、三神 晃²、
近藤幸尋²、坂谷貴司³、福嶋善光⁴、佐伯秀久¹

¹日本医科大学 皮膚科、²日本医科大学 泌尿器科、³日本医科大学 病理診断科、
⁴日本医科大学 放射線科

E-5-2 臨床的に血管肉腫に類似した甲状腺濾胞癌の皮膚転移例

齋川真子¹ (さいかわ まこ)、金子高英¹、栗原麻菜¹、高森建二¹、小島雅貴²、
肥後隆三郎²、野尻 岳³、林 礼人³、須賀 康¹

¹順天堂大学浦安病院 皮膚科、²順天堂大学浦安病院 耳鼻咽喉科、
³順天堂大学浦安病院 形成外科

E-5-3 皮下転移を生じた悪性中皮腫の 1 例

山本美友貴 (やまもと みゆき)、高田満喜、山本俊幸
福島県立医科大学

E-5-4 異なる臨床像の皮膚転移が出現した乳癌の 1 例

遠藤麻衣 (えんどう まい)、高田満喜、森 龍彦、山本俊幸
福島県立医科大学

E-5-5 皮下に生じた髄外性形質細胞腫の 1 例

則川菜摘¹ (のりかわ なつみ)、佐藤真由¹、山本俊幸¹、菊池 悟²

¹福島県立医科大学 皮膚科、²福島南循環器病院 血液内科

E-5-6* 乳腺組織内へ進展して乳腺内 atypical cellular blue nevus を伴った large plaque-type blue nevus の 1 例

佐竹宏介¹ (さたけ こうすけ)、後藤啓介²、佐々木庸介³、吉川周佐³、清原祥夫³、
林 友美⁴、須藤 保⁵

¹信州大学 皮膚科、²静岡県立静岡がんセンター 病理診断科、
³静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、⁴静岡県立静岡がんセンター 乳腺外科、
⁵兵庫県立がんセンター ゲノム医療・臨床試験センター

E-5-7 免疫チェックポイント阻害薬により皮疹が出現・増悪した 10 例の検討

宿谷涼子¹ (しゆくや りょうこ)、平澤祐輔¹、宿谷威仁²、山下淳史³、池田志孝¹

¹順天堂大学 皮膚科、²順天堂大学 呼吸器内科、³順天堂大学 病理診断科

E-5-8 免疫チェックポイント阻害薬を投与中に発症した抗 BP180 型粘膜類天疱瘡の一例

西垣綾子 (にしがき あやこ)、白居駿也、山根菜々子、岡橋一憲、中嶋千紗、大塚篤司
近畿大学 皮膚科